



## 平成28年度防災講習会を開催

## 柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部は、平成29年2月14日(火)に柏羽藤火災予防協会四部会(危険物部会・自衛消防隊部会・防火管理者部会・広報部会)主催による、平成28年度防災講演会を開催いたしました。

当日は、柏羽藤火災予防協会事業所の方々と消防団、婦人防火クラブ等防災関係者約150名の方が参加され、講師には大阪大学招聘教授兼大阪大学医学部附属病院特任研究員の梅田幸治氏をお招きし「大規模地震災害の教訓を今後の防災対策にどう生かすか」について講演をいただきました。

聴講後、関係者から直下型の地震で建物倒壊による災害被害が大きかった阪神淡路大震災と地震発生後に津波による被害が大きかった東日本大震災との被害の違いのわかる迫力ある映像と体験談を交えた緊迫感溢れる講演であり、今後発生すると予測される南海地震・東南海地震の備えと自助及び互助の大切さを改めて考えさせられたとの声が多く寄せられました。

講演後、関係者から直下型の地震で建物倒壊による災害被害が大きかった阪神淡路大震災と地震発生後に津波による被害が大きかった東日本大震災との被害の違いのわかる迫力ある映像と体験談を交えた緊迫感溢れる講演であり、今後発生すると予測される南海地震・東南海地震の備えと自助及び互助の大切さを改めて考えさせられたとの声が多く寄せられました。



## 忠岡町消防本部

## 危険物施設との連携強化

昨年の12月、管内危険物施設において事業所職員と消防職員との合同訓練を実施しました。昨年度から管内に製造所等を有する複数の危険物施設において、実災害を想定した合同訓練の協力を依頼し、取り組んできました。

今回の合同訓練は初の試みで、火災発見から通報、避難、そして先着した消防隊への情報提供を行い、それを受けた消防隊が消防本部へ状況報告や応援要請の連絡を行い、消火に至るまでの一連の活動を実践しました。訓練後は事業所と合同で反省会を行い、必要な情報の再確認や危険物施設に設置されている消火設備の重要性などを話し合いました。

今後とも引続き合同訓練を行う予定で、現在他の危険物施設を有する事業所とも話を進めている段階です。

管内の危険物施設において、漏洩事故等の発生が危惧される中で、危険物事業所との連携は必要不可欠であり、今後も更なる協力体制を構築していきたいと考えています。

